



表示部



センサ部

震度計算による遅延が無く二次災害防止に役立つ表示用地震計

D-Seisは、即時に震度演算(気象庁アルゴリズム計算式準拠)を行い、リアルタイムに最新の震度情報を表示し警報出力を行う事が出来ます。また、表示部に大型LEDを用いる事で視認性とメンテナンス性を高めました。

地震情報として、計測震度相当値の他に3成分合成最大加速度、及び水平合成SI値も表示され、いずれの値でも警報出力に設定可能です。また、ネットワーク用IPによる地震情報などのデータ転送が可能で、社内LANなどを使用し地震情報の共有化が図れ、復興体制の確立など企業防災にご活用いただけます。

* 各種センサーとの組合せが可能(現在ご使用の地震計の表示部のみ交換も可能です)。

主な仕様

MODEL-2250

センサ部

成分数:	3成分(水平2成分、鉛直1成分)
測定範囲:	±4G
直線性:	1000 $\mu\text{g}/\text{g}^2$ 以下
出力感度:	5V/G または 1.25V/G
周波数応答:	DC~200Hz
ゼロ点温度係数:	±500 $\mu\text{G}/^\circ\text{C}$ 以下 (1G 感度)
温度範囲:	-20 $^\circ\text{C}$ ~+70 $^\circ\text{C}$
湿度範囲:	100% R.H. (ただし結露のないこと)
電源:	±12VDC
外形寸法:	133(Φ) × 62(H)mm(突起部除く)

- 注: 1) お持ちのセンサをご使用になる場合、3成分(水平2成分・鉛直1成分)ある物が前提となります。また、3成分でもお使いいただけない場合もございます。
- 2) 本機で表示される内容と別途ロガーにて収録したデータを基にイベント後計算した結果は一致しない場合があります。
- 3) 本仕様・製品外観は改良のため予告なく変更される場合があります。

主な仕様(前項から続き)

計測部

センサ入力:	3成分
A/D変換器:	24ビット
サンプリング周波数:	100Hz
周波数範囲:	0.2Hz～30Hz
時刻補正:	外部接点正時校正、GPS(オプション)

インターフェース

シリアル:	RS-232C 1ポート(メンテナンス用)
Ethernet:	10/100自動切り替え 1ポート、UDP/IP
警報接点出力:	無電圧a接点 AC125V、0.4A以下/DC30V、2A以下 8回路

表示操作部

表示範囲:	0～99999gal(センサ仕様による)
表示装置:	7セグメントLED 震度階(*1): 1桁および強弱 加速度(*2): 5桁 SI値: 3桁 日付または時刻: 6桁
操作ボタン:	ブザー解除、警報接点解除、方向、取消、設定
警報ブザー:	圧電式

電源その他

電源:	AC100V 50/60Hz
停電保証:	約30分(オプション品除く)
動作温度範囲:	-10℃～50℃ 80%RH以下
構造、寸法:	約350(W)×220(H)×100(D)mm(突起物除く)

機能

演算項目:	計測震度(*1)・最大加速度(*2、1秒毎に演算)・SI値(*3)
トリガ機能:	計測震度(*1)・加速度(*2)、SI値(*3)から選択し、そのレベルが設定値以上となったとき表示が起動し、デトリガ後停止。
警報音:	トリガ時に鳴動。手動停止、または、デトリガ後停止。
イベント記録:	最新の10記録
記録データ項目:	日付・時刻・震度階(*1)・最大加速度(*2)・SI値(*3)
警報出力:	8レベル(計測震度(*1)・加速度(*2)、SI値(*3)から選択)
データ出力:	Ethernetポートから、UDP/IPで出力 1秒ごとに、日付・時刻・加速度(*2)・計測震度(*1)・SI値(*3) もしくは 演算終了後、日付・時刻・加速度(*2)・震度階(*1)・SI値(*3)

- * 1:相当値、* 2:3成分合成、* 3:水平2成分合成
- * 本カタログに記載されている仕様・製品外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- * 機器不具合や誤作動により発生した二次的被害についてはその責を負いかねます。

応用地震計測株式会社

〒336-0815 埼玉県さいたま市南区太田窪2-2-19

TEL: 048-887-8891 FAX: 048-887-5660

Eメール: marketing@oyosi.co.jp ホームページ: <http://www.oyosi.co.jp>

名古屋営業所

〒465-0095

愛知県名古屋守山区瀬古東二丁目907番地 応用地質(株)内

TEL: 052-793-8388 FAX: 052-793-8380

メモ